

アジ研 ワールド・トレンド

発展途上国の明日を展望する分析情報誌

2

2008

第149号

特集●

開発と環境—アジアの経験と課題

分析レポート●

南米地域統合—現状整理とブラジルの位置付け



1 巻頭エッセイ 途上国の環境問題とは

小島麗逸

特集 開発と環境—アジアの経験と課題

- | | |
|---------------------------------|------|
| 2 ●特集にあたって—アジア諸国の分権化と環境政策 | 寺尾忠能 |
| 6 ●地球温暖化とパーム油—東南アジアの新たな課題 | 藤崎成昭 |
| 10 ●インドネシアにおける民主化・地方分権化と環境問題 | 小島道一 |
| 14 ●展開するタイの環境政策と地方分権 | 佐藤 仁 |
| 18 ●中国の環境政策とローカル・ガバナンス | 大塚健司 |
| 22 ●台湾の環境政策—民主化以後の展開 | 寺尾忠能 |
| 26 ●盧武鉉政権の環境政策 | 石坂浩一 |
| 30 ●日本の公害経験の背景と技術移転—大阪市の経験から考える | 藤倉 良 |

34 分析レポート **南米地域統合—現状整理とブラジルの位置付け** 谷口恵理44 連載／スラウェシ市民通信 **最終回 違法伐採の後を追いかけて** マッテワツカン48 連載／もっとやさしい開発経済学 **第3回 マイクロファイナンス—貧困層にこそ金融サービスを** 高野久紀50 フォト・エッセイ **丁子(クローブ)のふるさと—神秘的テルナテとティドレ—** 大津伸子

54 カルチャー・ショック

外国人のみた日本 初めて訪れた夢の国

イマドM・A・アブドゥッラーティフ

日本人のみた外国 台湾での茶道紹介

池上 寛

56 ブックシェルフ

新刊紹介／岡本信広・桑森啓・猪俣哲史編『中国経済の勃興とアジアの産業再編』 岡本信広

新刊紹介／佐藤章編『統治者と国家—アフリカの個人支配再考』 佐藤 章

新刊紹介／東茂樹編『FTAの政治経済学—アジア・ラテンアメリカ7カ国のFTA交渉』 東 茂樹

レファレンスコーナー／モンゴル—総合的パートナーシップ 澤田裕子

60 アジア各国・地域 経済統計 図書館資料サービス課

64 研究所だより

◆表紙写真：ベトナム・ハノイの少年たち (写真提供：裕林社、撮影：中塚裕)

◆本誌に掲載されている記事などの内容や意見は、外部原稿を含め、執筆者個人に属し、日本貿易振興機構あるいはアジア経済研究所の公式見解を示すものではありません。

国際シンポジウム 「貧困削減を越えて—低所得国のための開発戦略」開催報告

当研究所は、2007年11月29日(木)、東京・大手町の経団連ホールにおいて、朝日新聞社、世界銀行と共催で国際シンポジウム「貧困削減を越えて—低所得国のための開発戦略」を開催しました。本シンポジウムでは、2000年に国連ミレニアム・サミットで合意された「ミレニアム開発目標(MDGs)」の達成が危ぶまれているアフリカ諸国など低所得国に対する国際援助のあり方を議論しました。

当研究所所長の白石隆が問題提起を行い、続いて基調講演では、ニューヨーク大学のウィリアム・R・イースタリー教授が、これまでの援助プログラムは貧困削減に効果がなかった、失敗に終わっても援助側は責任を取ろうともしてこなかった、と厳しい評価を下す一方、援助よりも自由市場が長期的には経済成長に貢献できると主張しました。これに対し世界銀行のシャヒド・ユスフ氏は、ODAは自由市場を補完する形で行われ、それなりの効果をもたらしており、今後、気候変動、水不足、技術移転、エネルギー供給、ICT、都市化という分野でODAは新しい役割を果たすことが可能と主張しました。

続いて、当研究所の山形辰史開発戦略研究グループ長、バングラデシュ開発研究所研究部長のシミン・マハムド、当研究所の平野克己地域研究センター専任調査役が発表。山形はカンボジアとバングラデシュの縫製業が競争力を獲得するに至った事例を挙げ、市場メカニズムの有効性とMDGsの成果主義の欠点を指摘。マハムド氏は貧困削減プロジェクトが肝心の貧困層の人権や主張が無視されている現状を報告。平野は現在のアフリカの経済成長は資源に向けられた直接投資に起因しておりODAは社会開発には役立つが経済成長に結びついていない点、経済の主役は自らリスクを取ってイノベティブな事業展開を行う起業家にある点、さらに官民連携の必要性を主張しました。

パネルディスカッションは自由市場と援助の役割を中心に展開し、相互補完的な関係により貧困削減、経済成長が進むのではないかと結論に達しました。おかげさまで、国際援助の役割、あり方を改めて問いかける意義深いシンポジウムとして、聴講者からも高い満足度を得ることができました。当日の聴講者への配布資料、議事録等詳細は、ジェトロ・アジア経済研究所ホームページ(<http://www.ide.go.jp>)をぜひご覧下さい。(文責 成果普及課・洞ノ上佳代)



- 研究所だより -



▼ 出版物のご案内

● 研究双書

- * No. 563 岡本信広・桑森啓・猪俣哲史 編 『中国経済の勃興とアジアの産業再編』三、六七五円(税込)
- * No. 564 佐藤章編 『統治者と国家—アフリカの個人支配再考—』四六〇円(税込)
- * No. 565 宇佐見耕一編 『新興工業国における雇用と社会保障』三八八五円(税込)

* No. 566 寺尾忠能・大塚健司編 『アジアにおける分権化と環境政策』二、七三〇円(税込)

* 問合せ・申込先 研究支援部出版企画編集課(販売担当直通)
TEL: 043-299-9735
FAX: 043-299-9736

▼ 最近の主な海外来訪者

平成 20 年度「発展途上国研究奨励賞」 候補作品公募のお知らせ

「発展途上国研究奨励賞」は、途上国に関する社会科学およびその周辺分野の調査研究水準の向上と研究奨励に資するために、アジア経済研究所が創設(昭和 55 年)したものです。平成 20 年度の候補作品を次の要領で募集いたしますので、広くご応募、ご推薦をお願いします。

対象：発展途上国の経済およびこれに関連する諸事情を調査または分析した著作とし、次の①あるいは②に該当するもの。個人研究、共同研究の別は問わない。

- ① 平成 19 年 1 月から同年 12 月までにわが国で公刊された日本語または英語による図書、雑誌論文、調査報告、文献目録。
- ② 平成 19 年 1 月から同年 12 月までに海外で公刊された日本人による英文図書。

応募方法：作品 1 点につき 1 枚の官製はがき、FAX または Eメールを使用し、(1)著者名、(2)書名または論文名、(3)出版社名または掲載誌名、(4)刊行年月、(5)推薦理由、(6)推薦者の住所、氏名を明記のこと。※自薦の場合は、対象著作 2 部を送付願います。また、他薦の場合も、可能であれば 2 部ご恵贈願います。

応募先：〒261-8545 千葉県千葉市美浜区若葉 3-2-2
日本貿易振興機構(ジェトロ)アジア経済研究所 研究支援部 成果普及課

FAX: 043-299-9726 Eメール: shourei@ide.go.jp

応募締切：平成 20 年 2 月 29 日(金)まで

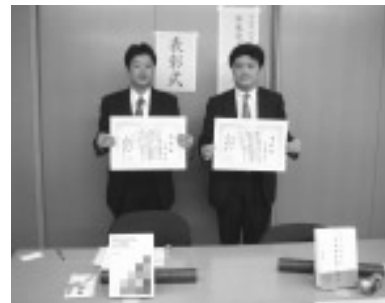
表彰：平成 20 年 6 月 30 日(月) (予定)

若干点を選定し、表彰状および副賞として 50 万円以内の賞金または記念品を授与する。

この件についてのお問い合わせは下記にお願いいたします。

アジア経済研究所 研究支援部 成果普及課

TEL: (043)299-9536 FAX: (043)299-9726



平成 19 年度受賞式

『アジア経済』 第49巻第2号

2月15日発行 1,050円(税込)

開発途上国に関する和文機関誌

論文、研究ノート、資料、現地報告、書評等を掲載

ご購入・お問い合わせは

出版企画編集課(出版物販売)まで

(電話:043-299-9735 FAX:043-299-9736)

『アジア研ワールド・トレンド』 第14巻第2号 通巻149号

2008年2月1日発行

編集・発行

日本貿易振興機構 アジア経済研究所

研究支援部

〒261-8545 千葉県美浜区若葉3丁目2番2

TEL 043 (299) 9735 FAX 043 (299) 9736

http://www.ide.go.jp

印刷

広研印刷株式会社



—アフリカ熱帯アート—

「收穫期」(油彩・キャンバス)

アーティスト ジェームス・フティア(ケニア・ナイロビ)

作家所蔵、作家撮影

ナイロビのコンテンポラリー・アートシーンに旋風を巻き起こしている作家の一人。彼のアプローチは非具象的な色づかいを好む都市のアーティストの典型と言える。女性をモチーフとする作品が多く、その理由を彼は「美と繁栄と幸せの象徴だから」と説明した。